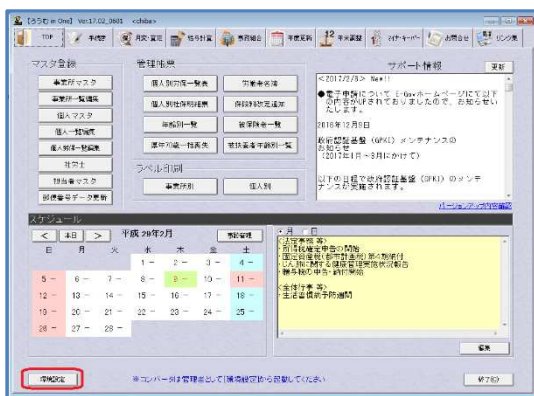


自動バックアップと復元

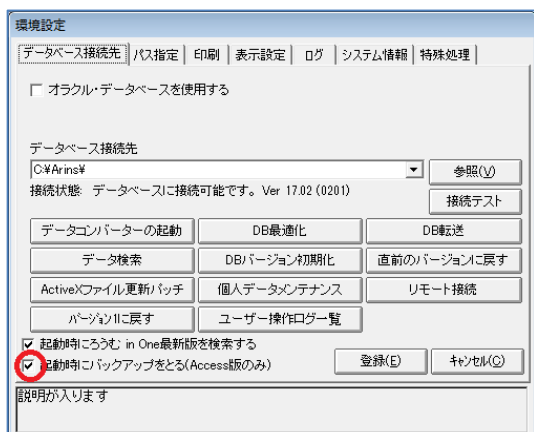
【自動バックアップについて】

- 自動バックアップは、[環境設定] で『データベース接続先』に指定してある「Arins.mdb」をバックアップします。
- バックアップのタイミングは、一日1回、最初のろうむ inOne の起動時です。複数台ご利用の場合は、複数台の中から、最初に起動した時点でバックアップデータを作成します。
(2回目以降の起動時には、バックアップしませんのでご注意ください)
※コンピュータの日付を基準としています。
- バックアップデータは、親機の[Cドライブ (Windows(C:))]の「Arins」フォルダの「Backup」フォルダに作成されます。
- 子機で「起動時にバックアップをとる (Access 版のみ)」にチェックを入れても、子機の「Backup」フォルダにはバックアップデータは保存されません。親機の[Arins]フォルダの「Backup」フォルダにバックアップが作成されます。
- バックアップが3日分を超えると、古い日付から自動で削除します。

【自動バックアップ】



(1) ろうむ inOne を起動し、[環境設定] をクリックします。

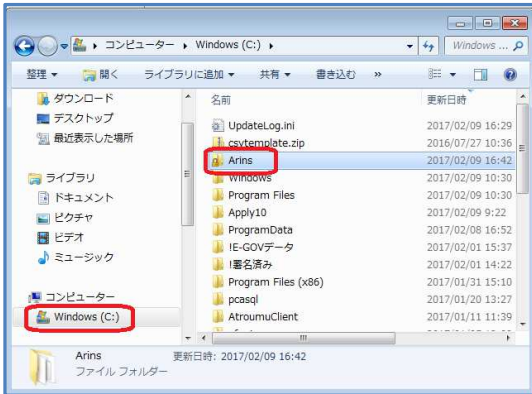


(2) 「データベース接続先」タブの「起動時にバックアップをとる (Access 版のみ)」にチェックを入れ、[登録] をクリックします。

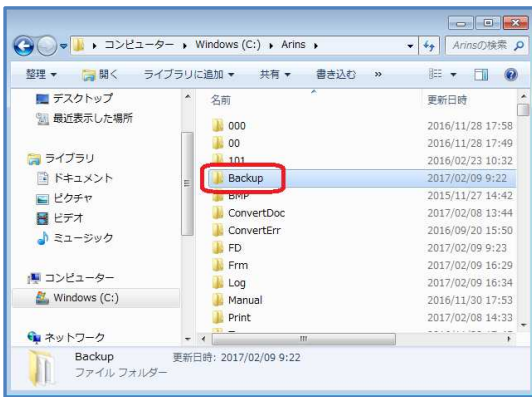
【自動バックアップからの復元】

※ろうむ inOne を終了した状態で行なってください。

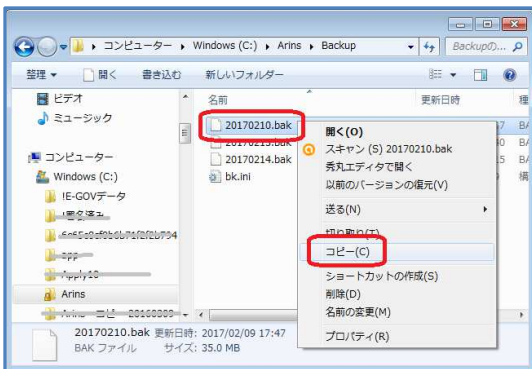
(複数台ご利用の場合は、全てのパソコンのろうむ inOne を終了してください)



- (1) パソコンのエクスプローラーを立ち上げます。
[C ドライブ (Windows(C:))]をクリックし、
[Arins]フォルダをクリックします。



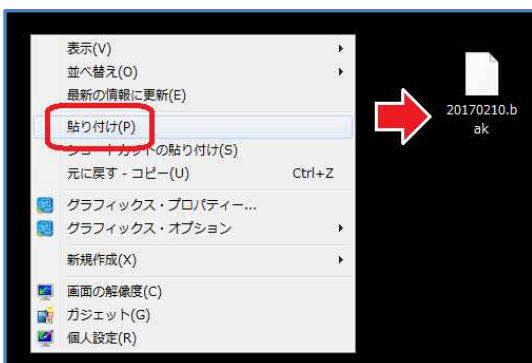
- (2) 「Backup」フォルダをクリックします。



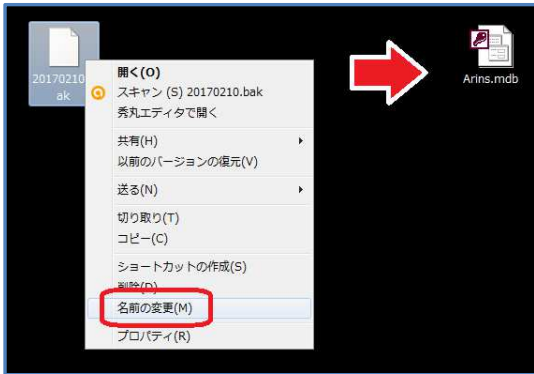
- (3) 「OOOO.bak」を右クリックし、「コピー」をクリックします。

※「OOOO.bak」が「Arins.mdb」のバックアップになります。

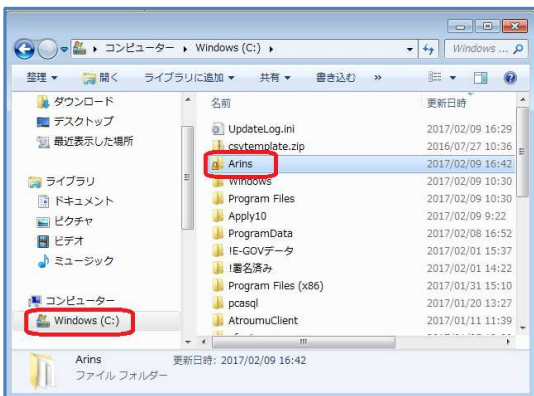
※「20170210.bak」というファイル名の場合、
2017年2月10日のバックアップです。



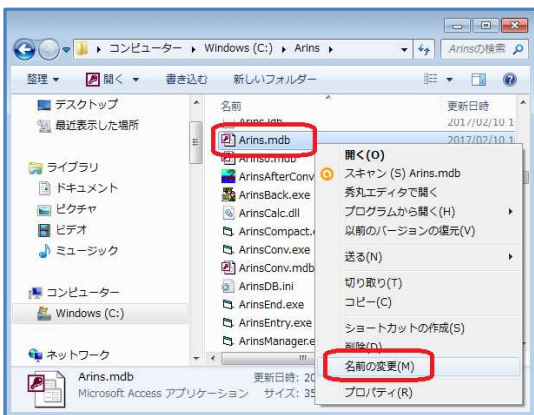
- (4) デスクトップの何もない所で右クリックをし、
「貼り付け」をクリックします。
「OOOO.bak」が作成されます。



- (5) 「0000.bak」を右クリックし、「名前の変更」をクリックします。
「0000.bak」を「Arins.mdb」に名前を変えます。



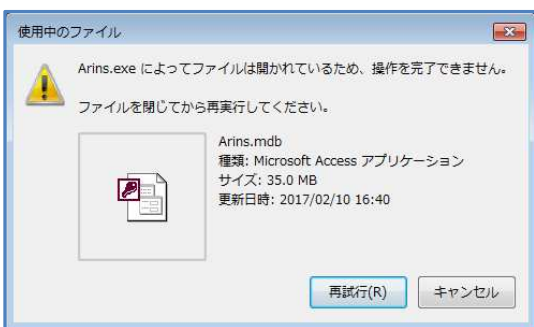
- (6) 親機のパソコンで、インターネットエクスプローラーを立ち上げます。
[Cドライブ (Windows(C:))]の「Arins」フォルダをクリックします。



- (7) 「Arins.mdb」を右クリックし、「名前の変更」をクリックし、「Arins.mdb」の名前の先頭に文字を付け加え、名前を変えます。

例：20170213Arins.mdb

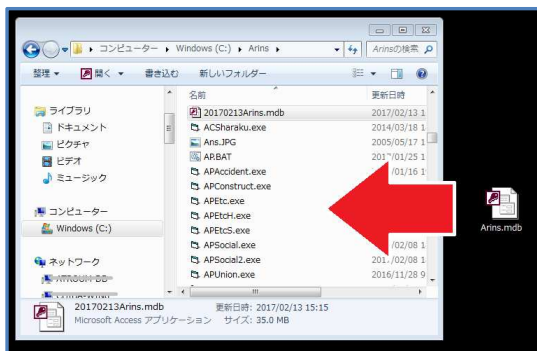
(先頭に作業を行なった日付を入力すると、いつデータを変えたのか分かりやすいのでオススメです。)



《※「名前の変更」をしようとする、「使用中のファイル」メッセージが表示される場合》

親機のパソコンを再起動し、再度「名前の変更」を行なってください。

- (8) 親機の「Arins」フォルダに、バックアップの「Arins.mdb」をドラックドロップして入れます。



上記の作業後、

ろうむ inOne を起動していただくと、バックアップのデータに切り替わります。